

事務局だより

2019年3月に退職された教員

※2019年度4月以降 ①特任教授 ②特命教授 ③客員教授



45年間の思い出

1974(昭和49)年1月、電子工学科に助手として着任、以来45年の勤務になりました。この間、多くの電子同窓生の皆さんとともに過ごしました。講義は電気回路や真空電子工学、電気磁気学、実験は電子回路やプログラミング(数値計算や画像処理)を担当しました。研究では電子を利用して微細な世界を観察・分析する電子顕微鏡の原理や性能に興味をもち、電子銃の開発や特性解析などに取り組みました。夜遅くまで研究に付き合ってくれた卒研究生や院生の皆さんをととき思い出します。いつも明るい笑顔で接してくれた学生の皆さんには、大いに励まされました。ありがとうございました。自然に囲まれ、広々とした八草キャンパスは、私の好きな場所の一つです。ここに毎日通うことができたことにも感謝しています。

電子情報系の分野は、今も急速に発展・拡大しています。新たな時代も皆さんが各分野で大きな役割を果たしていくことを、同窓生の一人として見守っています。【飯吉】

夏季測量実習の思い出

土木工学科卒業生の大多数が参加した夏季測量実習(現:建設総合実習)は、御嶽山のふもと、長野県大滝村に完成した学園「御岳山の家」を使い、新入生全員を対象として、山の家完成翌年の1979(昭和54)年7月から始まりました。5泊6日の行程で、実習現場であるスキー場まで重い測量機器を背負って起伏の激しい山道を片道20~30分かけてたどり着き、昼食を現場で取りながら夕方まで測量といった内容です。最終日には御岳登山やキャンプファイヤーを行って、学生間・先輩・教員との交流が図られた学外実習でした。

「御岳山の家」は、1984(昭和59)年の大滝村付近を震源とした長野県西部地震により被害を受けて閉鎖となり、その後、定光寺研修センター、豊田市少年自然の家、白馬スキー場、そして現在の郡上高原スキー場へと実習地が変わっていますが、当初から一度も途切れることなく昨年度40回目の実習を無事終えることができました。きつく苦労したこの数日間の経験は、その後の学生生活や社会人となってからの糧となっているでしょう。【奥村】

光陰矢のごとし

2012年以来7年間お世話になりました。その間、基礎教育センターに在籍し、多くの若い学生の皆さんと日々接することができ、考え方や背景の多様に大きな刺激を受けるとともに、元気をもらいました。

自然科学教室、工学部、情報科学部の数学、物理、工学、情報などの理科系だけではなく総合教育教室の語学、体育、教職など文科系の先生方からも幅広く楽しい知的刺激を受けました。また、先生方や、基礎教育センター、大学本部の事務職員の方々にとっても親切にいただきました。講義の後や学習支援センターで熱心な質問を受けたこと、新緑や紅葉など四季折々に美しいキャンパス、掃除の行き届いた教室や廊下が印象に残ります。時の経つのはまさに光陰矢のごとし。愛知工業大学の今後の益々の発展を願っています。【金田】

印象に残る研修旅行

早いもので3月に定年を迎えました。いろいろなことが思い出されますが、なかでもゼミ生を引率して行った1泊2日の研修旅行(東京)が印象深いです。

ゼミでは上場企業の経営分析をして卒業論文にまとめ上げていくわけですが、卒業論文で取り上げる上場企業の広報部にゼミ生が訪問する日時を文書にて事前に予約し、有価証券報告書で調べた財務情報や経営戦略のポイント、そして取り組んでいる課題などを面談して伺ってくるスタイルを取っていました。依頼文書の作成と面談質問内容を考え実際に面談していただくことは、学生達にとってはなかなかのプレッシャーだったみたいですが、後日提出の感想文では「緊張したがとても有意義だった」との声がほとんどでした。企業インタビューの後、日本銀行(貨幣博物館)、東京証券取引所も見学して見聞を広めてきたこともいい思い出です。【小森】

「ものづくり文化」開講の思い出

愛工大で印象に残っているのは、「ものづくり文化」の授業。「ものづくり文化」の発想は国際交流交渉のために訪れたアメリカの大学で、愛工大周辺の文化について学生に話そうに依頼されたことがきっかけでした。愛工大の文化とは?と考えたあげくに浮かんだのが「ものづくり文化」です。

帰国後に学長から外部講師招聘による授業実施の提案があり、多様な外部講師による複合科目「ものづくり文化」として開講。学生が興味をもち、開講初年度の履修者は700人を越え、G2210教室に入りきらず、階下の2110教室も使用して授業のテレビ中継をしました。その年の東宝映画「ゴジラ」担当プロデューサーによる映画づくりの授業を、学生たちも楽しんでくれたようでした。その後の外部講師との交流から生まれたさまざまな活動は、懐かしい思い出です。【森】

教員、瑞若会役員として

本年3月に退職しました副学長の山田です。高校を卒業し、目の前の若水キャンパスを横目に、八草キャンパスに通って52年が経ちました。また、応用化学科教員として研究室卒研究生の皆さんとともに研究し、遊び、懇親を深めて45年が過ぎようとしています。

瑞若会の皆さんには、いろんな意味で勉強させてもらい、お世話になりました。瑞若会の本部では常任幹事、事務局長、会長代理を務め、学科の垣根を越えてのお付き合いで、多くの経験をさせてもらいました。また、学科別同窓会の応化会では、まとめ役、現在は相談役として、いろいろな行事を企画、運営の一端を担い、ここで高分子材料グループや無機材料グループの卒業生を中心に、皆で一緒になってワイワイ、ガヤガヤやって盛り上げてくれたことが喜びでもあり、私の一番の財産です。今しばらくは、まだ大学、研究室に居ますので機会がありましたら立ち寄ってください。楽しみにしております。【山田】

事業報告(平成31年1月1日~令和元年12月31日)

	本部の会議	各種行事
1月		
2月		▲奥村教授(D)最終講義(2/9) ●瑞若会業界業種研究会(2/14・15) ▲飯吉教授(E)最終講義(2/16) ▲山田教授(C)最終講義(2/22)
3月	平成30年度第5回総務常任委員会開催(3/14)	◆在学生と応用化学科OB企業懇談会開催(3/2) ◆中・四国支部交流会(3/9・10) ■平成30年度卒業式「瑞若賞」贈呈(3/23) 卒業生に記念品配布(3/23)
4月	平成31年度第1回総務常任委員会開催(4/18)	■平成31年度入学式(4/5) ◆関西支部見学会(4/6)
5月		●清酒「瑞若」選定会(5/10)(名古屋ガーデンパレス)
6月	令和元年度第2回総務常任委員会開催(6/6)	●「みずわか」編集委員会開催(6/4) ■新会員のデータ入力(6/12) ■新会員の同窓会費入金処理(6/12) ▲愛知県私立大学同窓会連合会令和元年度理事会・総会(6/18) ■瑞若会奨学生証交付式(6/22) ●清酒「六代目瑞若」販売開始(6/22)
7月		◆職場支部近藤グループ愛工会(7/26)
8月		◆関東支部総会(8/17)
9月	令和元年度第3回総務常任委員会開催(9/26)	▲岐阜AITオープンフォーラム(9/14)(岐阜グランドホテル) ◆岐阜県支部交流会(9/14)(岐阜グランドホテル) ▲静岡AITオープンフォーラム(9/21)(ホテルクラウンパレス浜松) ◆静岡県支部交流会(9/21)(ホテルクラウンパレス浜松) ▲三重オープンフォーラム(9/28)(四日市都ホテル) ◆三重県支部交流会(9/28)(四日市都ホテル)
10月		■愛工大祭 開催への援助(10/13) ■工科展(10/13)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈
11月	令和元年度第4回総務常任委員会開催(11/21)	◆北陸支部交流会(11/2)(パレプラン高志会館) ■駅伝大会(11/12)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ◆中・四国支部交流会(11/16)(アークホテル岡山)
12月		●「みずわか vol.52」会員へ郵送

凡例: ●本部事業 ■学内事業 ◆支部事業 ▲その他

人事異動に関するお知らせ

■新規採用			
工学部電気学科	講師 藤枝 直輝	大学事務局	次長 堀田 順治
工学部土木工学科	講師 渡邊 康司	総務人事部総務課	参事 平野 考三
経営学部経営学科	教授 山田 裕昭	工学部土木工学科	技術職員 岩田 吉雅
経営学部経営学科	助教 福澤 和久 H24YT	財務部財務課	事務職員 嶋 好美
情報科学部情報科学科	講師 内種 岳詞	財務部会計課	事務職員 黒田左知子
基礎教育センター自然科教室	准教授 岡本 直也	工学部応用化学科	事務職員 水野 典子
基礎教育センター総合教育教室	准教授 玉崎 紫	総務人事部総務課	事務職員 長江 智春 H25HH
■人事異動(卒業生関係)			
【昇任・昇格】			
工学部電気学科	教授 五島敬史郎 H10R	総務人事部企画課	課長 前田 賢 H13E
工学部機械学科	教授 山田 章 H8M	総務人事部企画課	係長 馬詰 恵伍 H17U
		総務人事部総務課	係長 小西 貴之 H17T
【任命】			
みらい工房	工房長 北川 一敬 H2M		
■退職教員(H31年3月31日付)			
工学部電気学科	教授 飯吉 僚 46R	経営学部経営学科	教授 小森 清久
工学部応用化学科	教授 山田 英介 46C	基礎教育センター	教授 森 豪
工学部土木工学科	教授 奥村 哲夫 46D	基礎教育センター	教授 金田 行雄
工学部土木工学科	教授 呉 承寧		

平成30年度 決算書(収支計算書)

経常経費(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
入会金(基本金)	10,500,000	11,368,000	868,000	
終身会費	42,000,000	45,480,000	3,480,000	
年会費	0	0	0	
受取利息	50,000	13,437	△36,563	
雑収入	0	0	0	
当期収入合計①	52,550,000	56,861,437	4,311,437	
前期繰越金②	48,274,789	48,274,789	0	
収入の部合計①+②	100,824,789	105,136,226	4,311,437	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
学科・支部援助費	13,000,000	12,129,361	△870,639	
名簿管理・IT関連費	3,000,000	2,441,787	△558,213	
会報発行費	8,000,000	7,273,893	△726,107	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
卒業記念品費	3,000,000	2,424,060	△575,940	
準会員支援費	2,000,000	1,444,806	△555,194	
準会員奨学基金	5,000,000	5,000,000	0	
[小計]	34,600,000	31,313,907	△3,286,093	
人件費	3,100,000	2,944,834	△155,166	
消耗品費等	800,000	705,045	△94,955	
会議費	2,000,000	1,315,807	△684,193	
慶弔費	300,000	31,600	△268,400	
私大同窓会連合会	200,000	192,000	△8,000	
雑費・手数料	500,000	200,056	△299,944	
[小計]	6,900,000	5,389,342	△1,510,658	
予備費	1,000,000	0	△1,000,000	
基本積立金へ	10,500,000	11,368,000	868,000	
義援金及び寄付金	500,000	500,000	0	
当期支出合計③	53,500,000	48,571,249	△4,928,751	
当期収支差額④(①-③)	△950,000	8,290,188	9,240,188	
記念事業準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	44,324,789	53,564,977	9,240,188	
支出の部合計③+⑤+⑥	100,824,789	105,136,226	4,311,437	

基本積立金(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

■収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費から繰入	10,500,000	11,368,000	868,000	
前期繰越金	245,920,087	245,920,087	0	
収入の部合計	256,420,087	257,288,087	868,000	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	256,420,087	257,288,087	868,000	
支出の部合計	256,420,087	257,288,087	868,000	

記念事業準備費(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

■収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費から繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	15,000,000	15,000,000	0	
収入の部合計	18,000,000	18,000,000	0	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	18,000,000	18,000,000	0	
支出の部合計	18,000,000	18,000,000	0	

会員訃報

●電気工学科	●応用化学科	●建築学科
39E 中野 正紀	40C 山田 一二	52A 飯沼 康和
48E 清水 茂	47C 辻の内明博	52A 石川 達典
54E 杉浦 裕近	58C 牧 雅博	58A 木村 誠一
●電子工学科	●機械工学科	●経営工学科
42R 酒井 邦夫	43M 大塚 悦	47K 大久保真一
46R 京極 信	51M 河辺 昌昭	55K 太田 憲朗
48R 稲垣 広道	●土木工学科	55K 田中 廣嘉
49R 花木 敏行	46D 山岸 英志	60K 山下 昌久
H1R 山田 欣司	57D 清水 康弘	H4K 松本 五月
		●情報科学科
		H22TK 藤井 俊也

名古屋電気学園元顧問の川出善晴氏(49K)が令和元年10月2日にご逝去されました。瑞若会会計担当として長くご尽力いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

2019年度「AITオープンフォーラム」開催

第123回

2019年9月14日(土)
岐阜グランドホテル

工学の視点から考える
脳と運動

講師: 香川 高弘 准教授
工学部機械学科

第124回

2019年9月21日(土)
ホテルクラウンパレス浜松

人工知能とRoboCup

講師: 伊藤 暢浩 教授
情報科学部情報科学科

第125回

2019年9月28日(土)
四日市都ホテル

デジタル折紙の
建築デザイン

講師: 宮本 好信 教授
工学部建築学科

工学の視点から考える
脳と運動

Pick up

香川 高弘 准教授
人間の運動の仕組みをセンサ・コンピュータ・モータから構成されるロボットと対比することにより、人間の巧みな運動を工学的な視点から考えるという内容で講演が行われました。また、脳・神経系の損傷により生じる運動障害とそれに対する工学的な支援技術についても紹介されました。